

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月23日

## 【評価実施概要】

事業所番号	270101769		
法人名	株式会社ケイ・アール共進レジャー販売		
事業所名	グループホームサニー・ライフ		
所在地 (電話番号)	〒030-0822 青森県青森市中央4丁目9番地9号 (電話) 017-774-5555		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 21年 1月 28日	評価確定日	平成 21年 2月 23日

## 【情報提供票より】(平成21年1月14日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 12月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	13人, 非常勤 2人, 常勤換算 14.2人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	450 円	おやつ 円
または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(1月14日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	1 名	要介護2	7 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.3 歳	最低	73 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	中部クリニック、斉藤内科、青森協立病院、ミナトヤ歯科
---------	----------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

青森市の市街地の割合交通量の多い地域に立地されているが、最新の建築工法により静かな生活環境が提供されている。訪問時は天気も良いこともあり、大きな窓から差し込む陽ざしに気持ちよくつろいでいる入居者の様子がうかがわれた。2ユニットで一階と二階で分かれており、車椅子等の対応のためにエレベーターも完備されており安心できる。近所には町内で管理されている広い敷地の野菜畑もあり、自由に収穫できてみんなの楽しみともなっている。認知症の介護に対しては、職員それぞれの方が前向きに取り組みされており、職場の人間関係も良く、それが入居者の安心されたような雰囲気からも感じられる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	同業者との交流の機会があり、情報交換など積極的に行われてきている。馴染みながらのサービス利用については、家族ばかりではなく利用者も必ず事前に施設を訪問してもらい、部屋などを見てもらって、納得してもらおうようにしてから入居するようにしている。地域密着型サービスとしての理念については具体的にまだ取り組まれていないのでみんなで作り上げていってほしい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価については全職員で取り組んでいる。家族からの情報収集や入居者の観察を継続して行いながら、センター方式のアセスメントシートを利用して思いや意向の把握を定期的に行うようにしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	入居者の状況の説明、今後の行事予定、事業計画の進行状況などの説明がされ、民生委員や包括支援センターの職員、家族から質疑応答を受けたり、町内会長から行事のことについて提案されたりしており有意義に開催されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	家族からの意見等については月一回の面会時などに職員の方から近況について説明しながら引き出すようにされているが、独自にアンケートをとるなどして、運営に反映させたい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内で管理されている野菜畑に出かけたりして交流され、日常生活の憩いの場所となるよう、地域の方の協力を得ている。又、婦人会の踊りの慰問をうけたり、夏祭りに地域の住民を招待したりして地域との連携を深めるために努力されている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしく、楽しく、幸せに」という理念を掲げておられるが、地域密着型サービスの理念としての内容になっていない。		管理者自身前向きに考えており、地域密着型としての理念を職員全員で作り上げていくことに期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	迷いが生じたときはその都度理念を振り返り、日常の介護に生かされており、ユニット会議等で随時話題に取り上げて、職員間で共有されている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会長が提供してくれる敷地で野菜作りを行い、夏祭りに収穫祭をかねて地域の参加者に野菜を提供したりしている。また、町内会の婦人会で踊りや歌謡ショーを披露してもらったりして交流の機会をつくっている。更に地域外の方でも、見学をかね相談などで来訪した際に気軽に立ち寄れる雰囲気作りが構築されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価後、職員全員で内容を閲覧し、留意点についてはユニット会議等で話し合いの場を設け、全員で検討しながら改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>民生委員、町内会長、地域包括支援センター、入居者、入居者の家族、管理者、職員が参加し、3ヶ月に1回定期的に開催している。取り組みの報告や各参加者との質疑応答などを行い、今後のサービスに活かされるようにしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センター主催の地域ケア会議に積極的に参加している。その際に地域の他のグループホームが抱える問題点など共有する機会をつくり、サービスの改善等に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会等で学ぶ機会があり、職員間で制度を理解できるように資料を閲覧している。家族にも入居時などに説明されており、実際に制度を活用されている方もいる。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>玄関など目のつく場所へマニュアルを設置し、気になったことがあった場合にその都度話し合ったりして、職員同士で相互啓発に取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に十分な説明をされ、リスクにおいても、想定される内容の説明がされて、あらかじめ納得されたうえで入居されている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>ほとんどの家族の方が月に一度は訪問されており、その際に健康状態、日常の様子を報告している。また、遠方で来れない家族へは手紙などで報告している。金銭管理においても毎月定期的に報告されている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見書箱を設置し家族から意見を抽出できるよう配慮している。また、家族の面会時などに意見が出されるように話をしているが、外部者を通して意見を出せるなど安心して表せる機会がたりない。</p>		<p>独自のアンケートなどでより多くの意見を引き出すことで更なるスキルアップを期待したい。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>事業所の都合による職場内の異動については極力ないようにされている。また職員の離職の場合は利用者にあらかじめ話されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修へも積極的に参加できるようにされている。研修後は資料を回覧し、職員同士で質問に対する返答を行いながら一人一人の資質向上に努めている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域包括支援センターがリーダーとなり、地域のグループホームが集まる機会を設けることで、同業者同士が定期的集まり、相互に情報交換したりしてネットワークが構築されている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族と入居にあたって相談後、入所前には緊急の場合を除いて必ず本人にホームに訪問してもらい、全体的様子や部屋の様子など見学してもらい、納得していただいてから入居するようにしている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員の口調が荒くなったりすると、入居者から言葉遣いについて指導を受けたりしており、人生の先輩として職員も謙虚に受けとめている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式のアセスメントを取り入れ、本人のニーズを把握できるよう支援している。また2ヶ月に1回は見直しをしながら意向の把握に取り組んでいる。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ホームでの普段の会話から勘案したり、家族からの意向を確認したりしながら毎月のユニット会議で検討して介護計画に反映させている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に計画の見直しを行っている。また、身体や精神状況に変化が生じたら随時見直しを行い、新たな計画作成に取り組んでいる。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診等、柔軟に対応している。以前から短期入所の相談はあるが、空き部屋を利用した短期入所は難しい面があり、通所介護から取り組みたいと検討している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望があれば入居前のかかりつけ医を継続できるよう配慮している。また協力医療機関の定期的な往診を受けられるよう支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、重度化・終末期には対応していないので、協力医療機関の系列の入院施設などについて説明し、あらかじめ関係者全員で方針を統一している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ホーム内で行われる会議の際、個人のプライバシーを尊重するためにも入居者に気づかれないように部屋の番号を取り入れて話し合うように配慮されている。また、部屋の入口に本人の写真を飾る際も、その都度了承を得ている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人から要望がある場合は羞恥心、自尊心を傷つけないよう言葉には気をつけている。帰宅願望等がある場合は散歩や神棚と一緒に拜んだりして気分転換を図ったり、入居者同士トラブルがあった場合など職員が間に入りうまく会話を取り持つなどの配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員と一緒に食事をとり、共有できる話題を提供しながらさりげなく見守り、会話も弾み楽しんだ食事の機会が作られている。また、食事の遅い入居者へはゆっくり食べられるよう工夫し、一人一人のペースにあわせ配慮されている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回定期的に入浴の機会を設けている。希望があれば随時対応できるよう体制は出来ている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居前の生活歴から利用者が出来ることを見出し、生活の場面で出来るように支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>近場の畑へ散歩をかねて出かけ作業をしたり、買い物などで外出支援をしている。更に入居者の希望があれば理髪店や美容院へ外出する等、入居者のニーズに合わせ、随時外出支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修に参加し、身体拘束になる行為をマニュアル化して、玄関など目のつく場所へ明示している。更に公的な機関からの情報も回覧し職員間で周知している。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	市街地の割合交通量の多い地域に立地されてることで夜間事故防止のために玄関を施錠しているが、各ユニットの玄関は開放すると鈴がなり気がつくように配慮されている。また、日中は施錠せず自由な暮らしができるよう見守られている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年3回避難訓練を行い、入居者と職員が参加している。その際は消火訓練も行っている。また、地域住民、警察、職員の連絡網を明確にし緊急時は迅速に連絡がとれるよう配慮されている。		夜間を想定した避難訓練も実施したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりのチェックシートにておおまかに食事摂取量の確認がされている。又、状態に応じて細かに水分の摂取量など記録されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防のマニュアルを玄関、洗面所、トイレ等提示している。更に玄関には手指を消毒されるものが設置され、感染予防に努めている。また、掃除に関しても効果的の消毒剤を使用し徹底している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>空気の循環のシステムにより、快適な空間がある。また入居者の様子を大きめの写真で紹介したりして、利用者や家族に好評を得ている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>事業所で家具を準備しており、使い勝手が良いように配置されている。しかし本人らしい部屋としては殺風景に感じられる。</p>		<p>本人の馴染みのものを用意するなど、家族とも相談しながら部屋を作っていくたい。</p>

 は、重点項目。